

# 昭和21年南海大地震調査報告

水路要報 昭和23年刊行(兵庫分 要約版)

第五管区海上保安本部  
海洋情報部

## はじめに

昭和 21 年 12 月 21 日 4 時 19 分過ぎに、潮岬南方沖を震源とするマグニチュード 8.0 の南海大地震が発生し、南西日本一帯では地震動、津波による甚大な被害が発生しました。

海上保安庁海洋情報部の前身である水路部（水路局）は、地震発生翌年の昭和 23 年 1 月から 5 月にかけて、各地の津波の状況、それによる被害、土地の隆起・沈降、海岸線の変化、港湾の水深等を実地踏査し、写真や図と合わせた調査の成果を水路要報（増刊号 昭和 23 年発行 昭和 21 年南海大地震調査報告）として取りまとめ公表しました。

オリジナルの水路要報は、①「津波編」、②「地変及び被害編」、③「海底地形編」、の 3 編の構成であり、①②編は、津波・地変・被害の項目について地域や主な港別（123 箇所）に整理されています。

この資料は、①②編のうち、兵庫県分（3 箇所）に関わる内容を原文のまま抜粋し要約したものです。

今日、東南海・南海地震等の巨大地震に対する防災対策が叫ばれているなか、第五管区海上保安本部では、先人の懸命の努力によって作成されたこの調査報告をネット等で公開することにより、広く多数の方の目に触れ、防災対策の一助となることを願って止みません。

平成 23 年 7 月

第五管区海上保安本部  
海洋情報部

# 索引図



目 次

ページ

ページ

調査結果

兵庫県

福良	.....	1
淡路由良	.....	3
洲本	.....	5

付図

各地の津波到達時刻	.....	7
地盤の昇降区域	.....	8
地盤の昇降	.....	9
港湾施設に与えたる被害地区	.....	10
海岸建築物に与えたる被害地区	.....	11
船舶に与えたる被害地区	.....	12
各地の津波の高さ	.....	13

付表

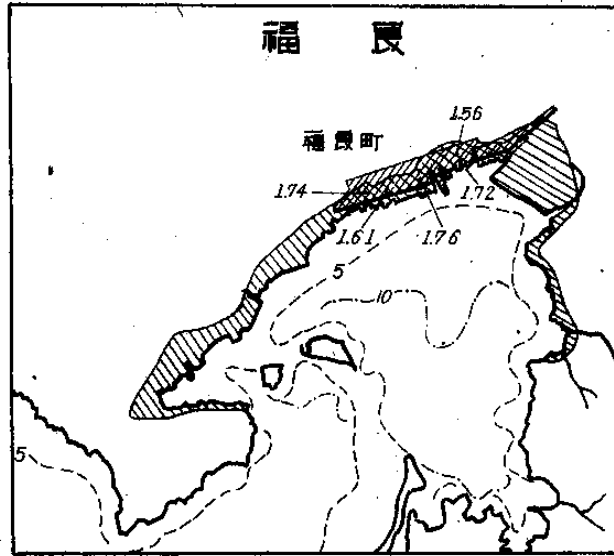
津波一覧表	.....	14
被害一覧表	.....	19

## 調査結果

## 兵庫県

地名	調査項目	内容	
福良	津波	津波の状況	震後40～50分で第1波来襲しその第1波が最高で、あと四、五回来た。津浪の高さは湾奥で1.76メートルで、淡路島では唯一の浸水区域のあった所である（附図No.6参照）。
		海面の状況	湾内は雨後の如く湧き立ち濁った所もある。
		海震	福良湾口南寄り附近に鯛漁中の船は機関の振動程度の動揺を感じた。
		発光現象	地震と津浪の間に電雷の如き光を東方に見た。又漁船は福良より撫養に亘る光を見た。
		その他	
	地変	地盤の隆沈	町内の地理調査所水準標の測定結果は0.13メートルの隆起である。一般に目認されるほどの昇降の変化はない。
		海岸線の変化	前記の岸壁中央部では長さ20メートル、割れ口3センチメートル程度の地割れが数箇所に来た。
		井水の変化	町内は局所的に水位上昇と下降した所とが生じた。
		地震動の状況	振り時計の大部分が止まり、壁はき裂を生じたが中には落ちた所もある。墓石はあまり倒れたものはないようである。かわらのずれた家屋は70戸ほどあって防波堤3箇所小破、納屋3戸の倒壊を生じた。
	被害	港湾施設	福良港護岸は数箇所くずれたがいずれも小破程度である。又福良駅南東の堤防は全長20メートルの所が約10メートルぐらい流失した。
		海岸建築物	被害内訳（全建築物数2,200戸） 津浪に因る 半壊 2～3戸（詳細不明）、小破 100戸、床上、床下浸水788戸（内約3割は床上浸水）
		船舶	被害内訳（全船舶数415隻） 岸壁係留中 15隻（15トン動力船）乗上げ破壊 2隻 400隻（ろ船） 流失8隻、小破20隻（不確実）
		その他	道路に若干決壊を来たした。又耕地は水田5町歩、畑地3町歩に浸水を見た。

附圖第6

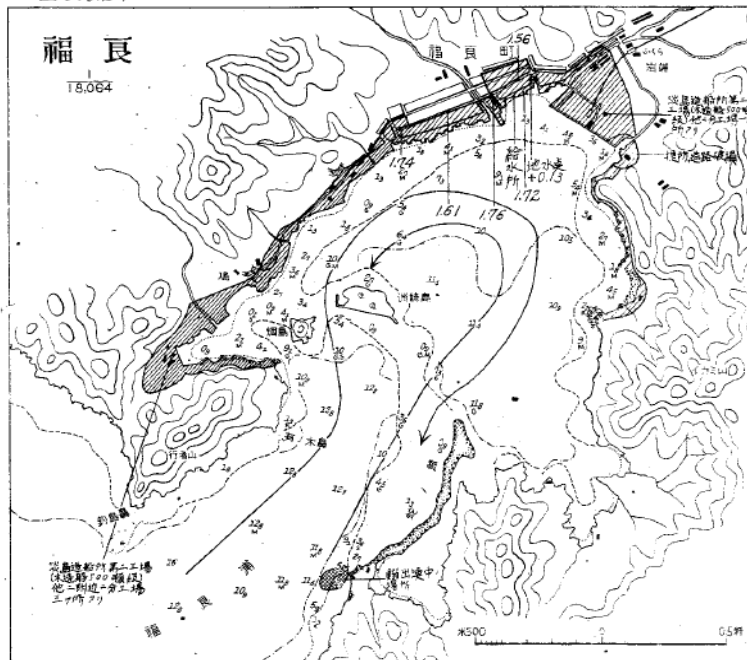






浸水区域



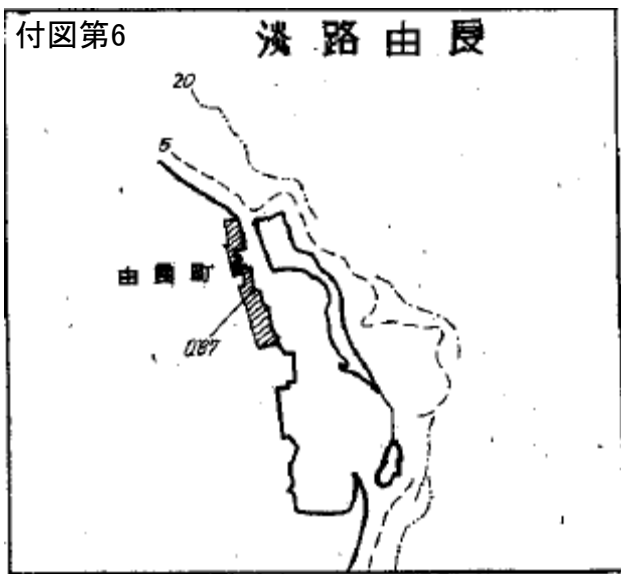
市街又は村落


分圖 No. 24



記載例		
	数值	浸水区域、数字は地震時における潮位上の津波の高さ
	数值	水路局基本水準標、水上岩、干出岩、数字は隆沈量
	数值	地水点 地理調査所水準標、数字は隆沈量
(A) - (B)		験測線
		海面における矢符は津波の進行方向
		+ 隆起 - 沈下
		+ 隆起 - 沈下





地名	調査項目	内容	
淡路由良	津波	津波の状況	浸水せず。従って津浪の高さも0.9メートル程度であった。
		海面の状況	潮流の方向は南北方向のみで濁らなかった。
		海震	紀伊水道沼島東方6~8マイル附近に出漁中の船はドンドンという音を聞き物に衝突した様で、又下方から突上げられる様な震動を感じた。
		発光現象	
		その他	
	地変	地盤の隆沈	北港口梅崎附近の干出0.4メートル岩及び町内の地理調査所水準標の測定ではそれぞれ0.2メートル、0.20メートルの沈降となっている。一般には目認されるような変化はないが町内岸壁の中央部が局所的に6センチメートル程度沈下した。
		海岸線の変化	前記の岸壁中央部では長さ20メートル、割れ口3センチメートル程度の地割れが数箇所に出た。
		井水の変化	震前既にかれた所も一部には見られた。一般には地震直後に水位低下及び濁りを生じたが1箇月を経過するもまだかれの復旧しない所もある。
		地震動の状況	
	被害	港湾施設	防波堤3箇所小破（地震に因る）
		海岸建築物	全壊 4戸 半壊 32戸 小破 113戸
		船舶	被害内訳（全船舶数400隻） 出漁中 20隻（ろ船）、70隻（動力船—5トン、2人乗） 岸壁係留中 250隻（ろ船）、50隻（動力船） 揚陸中 10隻（ろ船） 被害、ごく軽微
		その他	被害の大部分は地震による 建網は梅崎附近のもの一部流失



 浸水区域
  市街又は村落

分圖 No.23



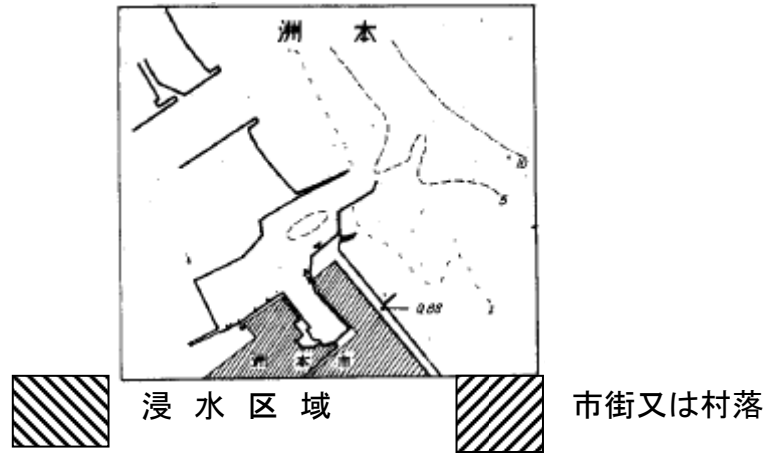
記載例	
	数值 浸水区域、数字は地震時における潮位上の津波の高さ
	数值 水路局基本水準標、水上岩、干出岩、数值は隆沈量
	数值 地水点 地理調査所水準標、数值は隆沈量
(A) - (B)	験測線
	海面における矢符は津波の進行方向
	+ 隆起 - 沈下 + 隆起 - 沈下



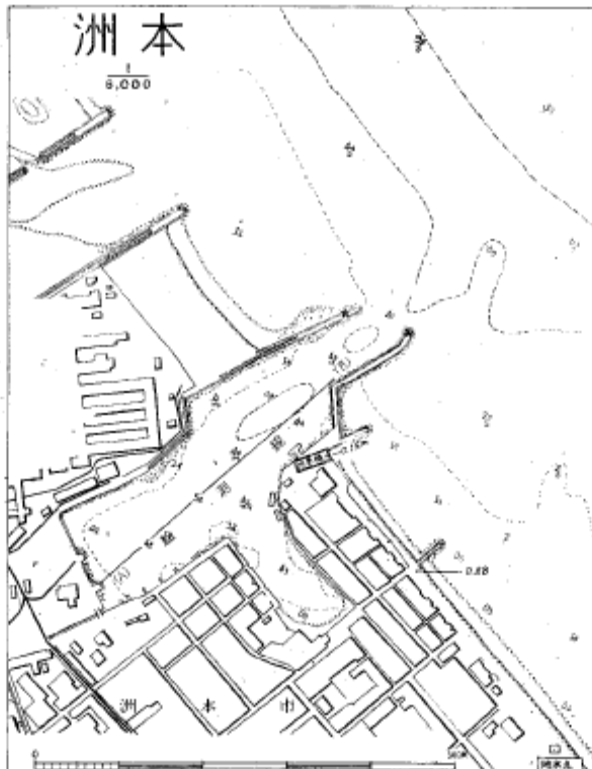
## 調査結果 兵庫県





地名	調査項目	内容	
洲本	津波	津波の状況	浸水せず。従って津浪の高さも0.9メートル程度であった。
		海面の状況	
		海震	海震は気付かなかった
		発光現象	洲本東方2マイル位の沖に出漁中の漁船ではうすあかりの光を見た。此の光は初め熊野灘方面より始まり淡路島西方で終った。光は柱状で斜角30度で点々と光っていた。そして神戸方面あたりへ行くと全体に明るくなりその為に山々の輪郭が判っきりした。此の光が一周するに2~5分かかった様に思う。
		その他	淡路島雁来埼附近から同島佛埼附近までは潮流の影響で津浪直後より5~6日間たこが多量に獲れた。其の他魚類には明確な異変はなかった。
	地変	地盤の隆沈	測深は港奥岸壁附近より港口南防波堤基部を結ぶ一線上で行ったがその測深結果からすると、海底面は震前に比べてきわめておうとつに富むようになったがこの変化は津浪（水深は比較的浅い）に関係するものであるか、構造に因るものか明らかでない。 測定結果は港奥岸壁附近では0.5メートルの沈下、前記の防波堤基部附近で0.1メートルの隆起があり、港中央部は隆起零で水深4.5メートルの港奥部側では0.5メートル、水深5メートルの港口附近で0.4メートルそれぞれ沈下したが平均沈下量は0.2メートルである。 陸上では洲本市漁師町東岸南部の地理調査所水準標及び同岸北部にある兵庫県水準、標の測定をなしたがその結果はそれぞれ0.32メートル、0.15メートルの沈下量となる。
		海岸線の変化	一般には海岸線等の状況よりして目認されるような顕著な変化はない。
		井水の変化	震後水位の低下及び混濁を生じた。
		地震動の状況	振り時計は全部止まり、壁、かわらはかなり落ちたが寺町附近の墓・石は約2%転倒した。 地動は初め南東-北西、次に北東-南西の水平動で最後に上下動があった。
	被害	港湾施設	防波堤 3箇所小破（地震に因る）
		海岸建築物	被害内訳（全建築物数7,849戸） 全壊 125戸（住家78戸、非住家47戸） 半壊 178戸（住家128戸、非住家51戸） 小破 392戸
		船舶	
		その他	

付図第6

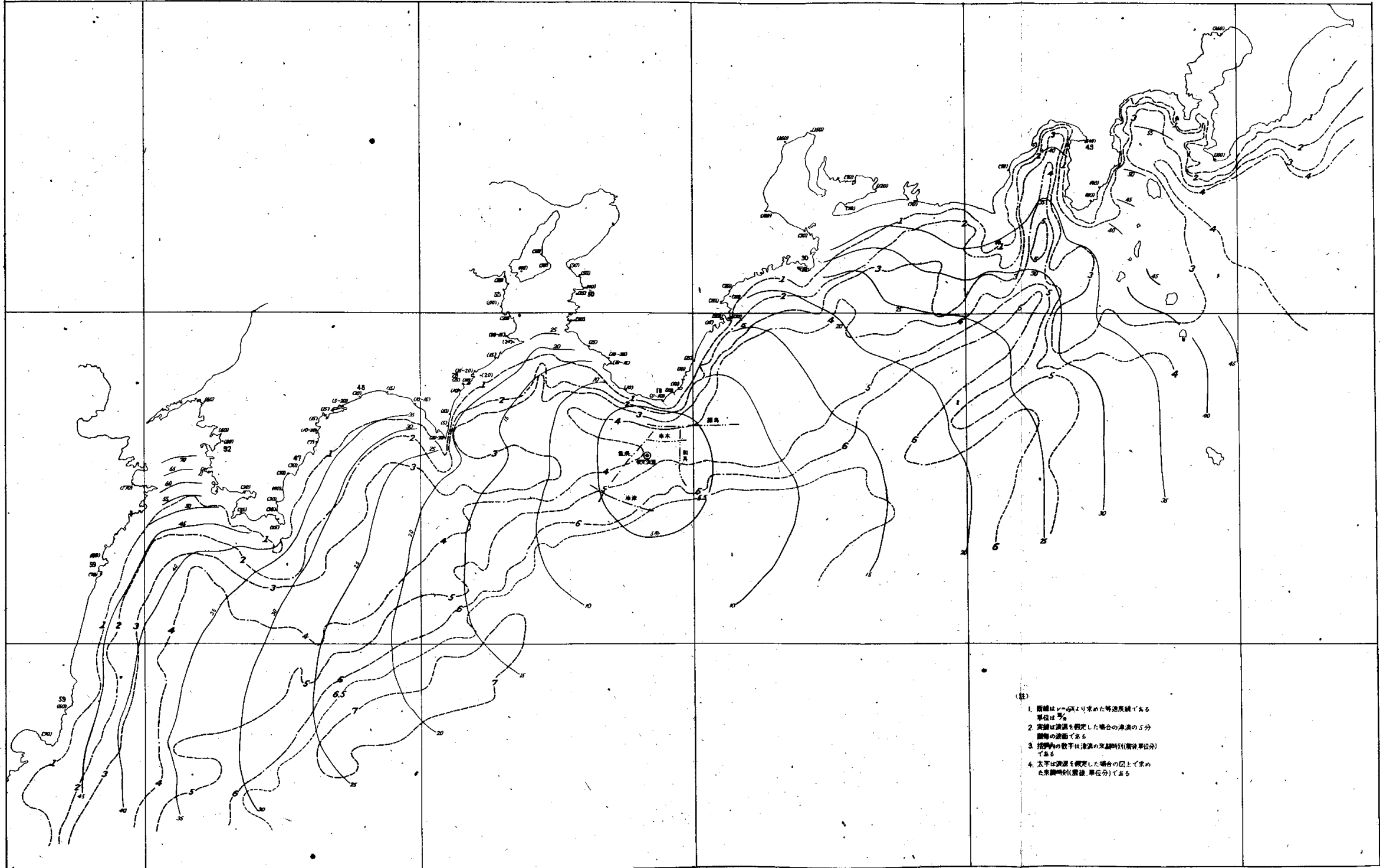


分圖 No.22



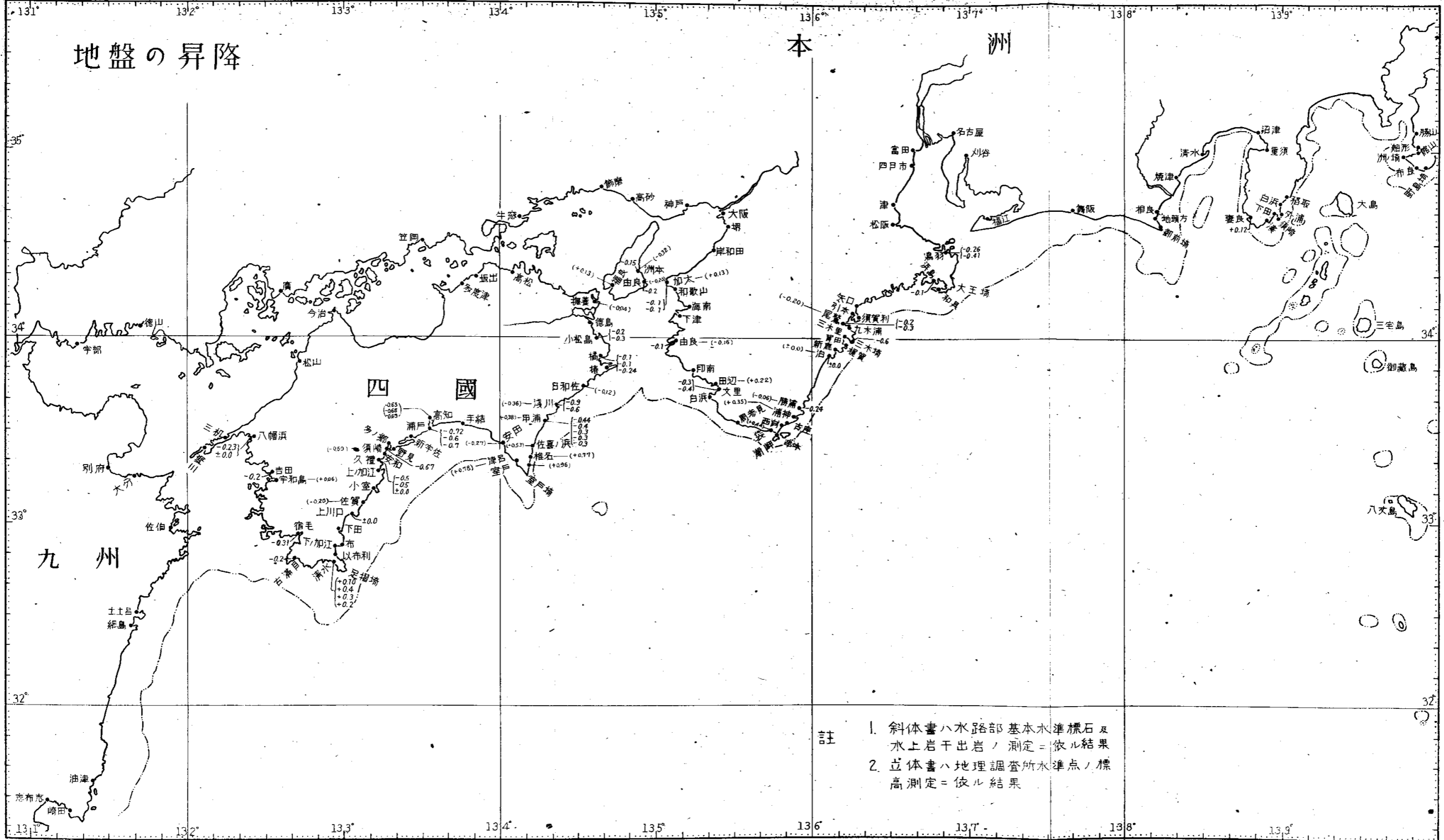
記載例	
	数值 浸水区域、数字は地震時における潮位上の津波の高さ
	数值 水路局基本水準標、水上岩、干出岩、数值は隆沈量
	数值 地水点 地理調査所水準標、数值は隆沈量
(A) - (B)	験測線
	海面における矢符は津波の進行方向
	+ 隆起 - 沈下 + 隆起 - 沈下

第 1 圖



- (註)
1. 實線は1000より求めた等速度線である  
単位は 秒。
  2. 虚線は潮流を概定した場合の潮流の5分  
間隔の波面である。
  3. 矢印の数字は潮流の流速時刻(概算単位分)  
である。
  4. 太字は潮流を概定した場合の回上で求め  
た流速時刻(概算単位分)である。

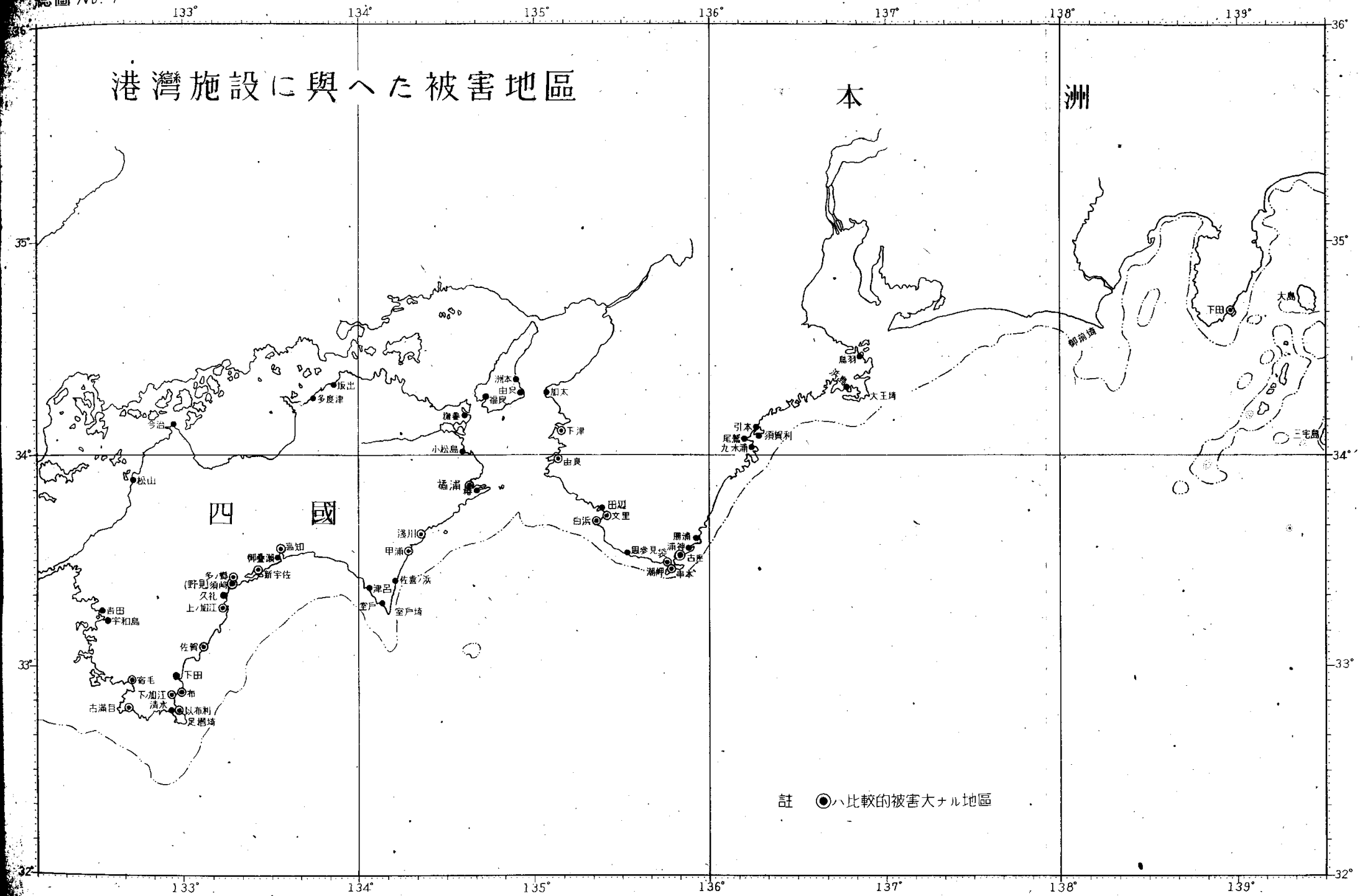


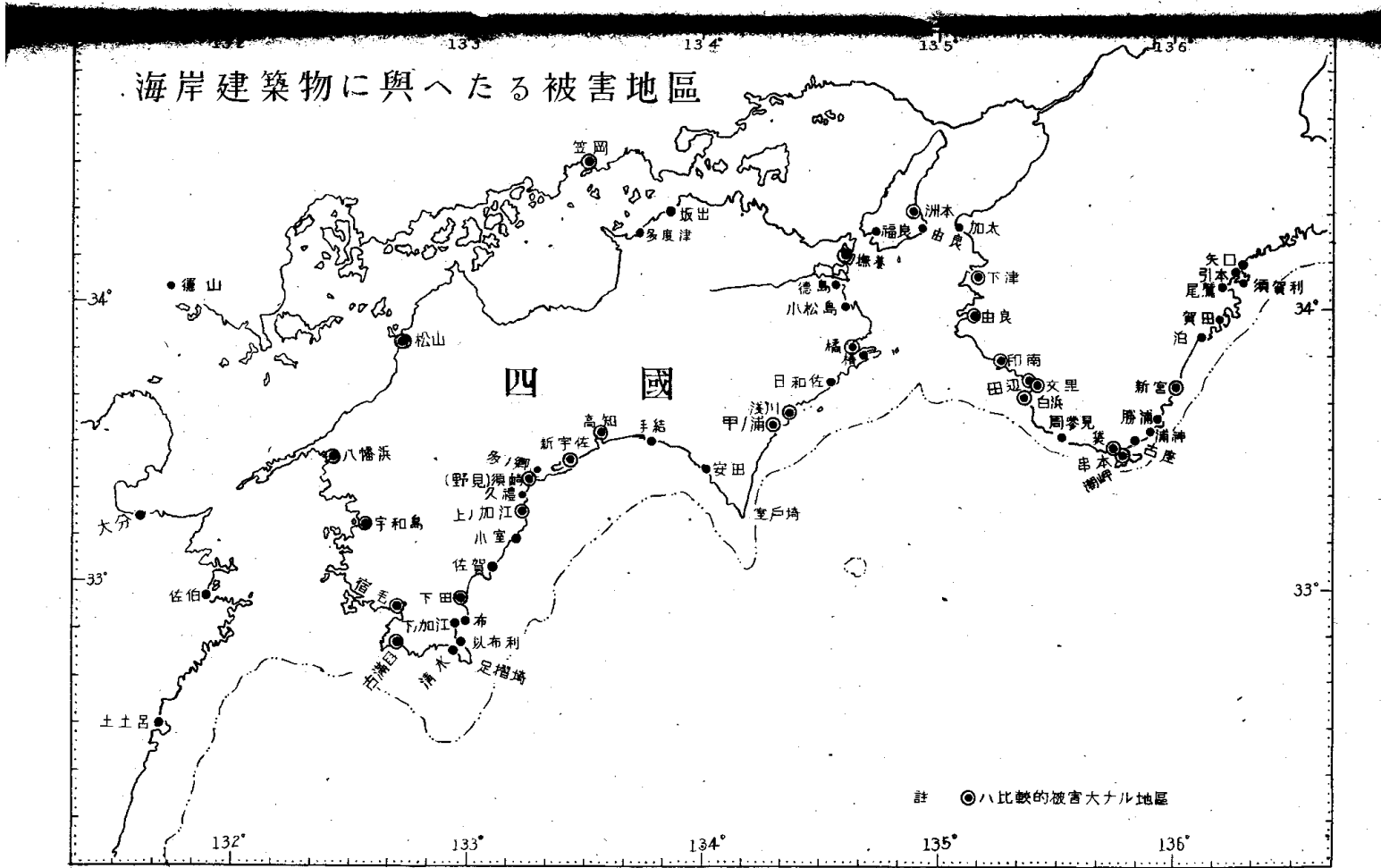


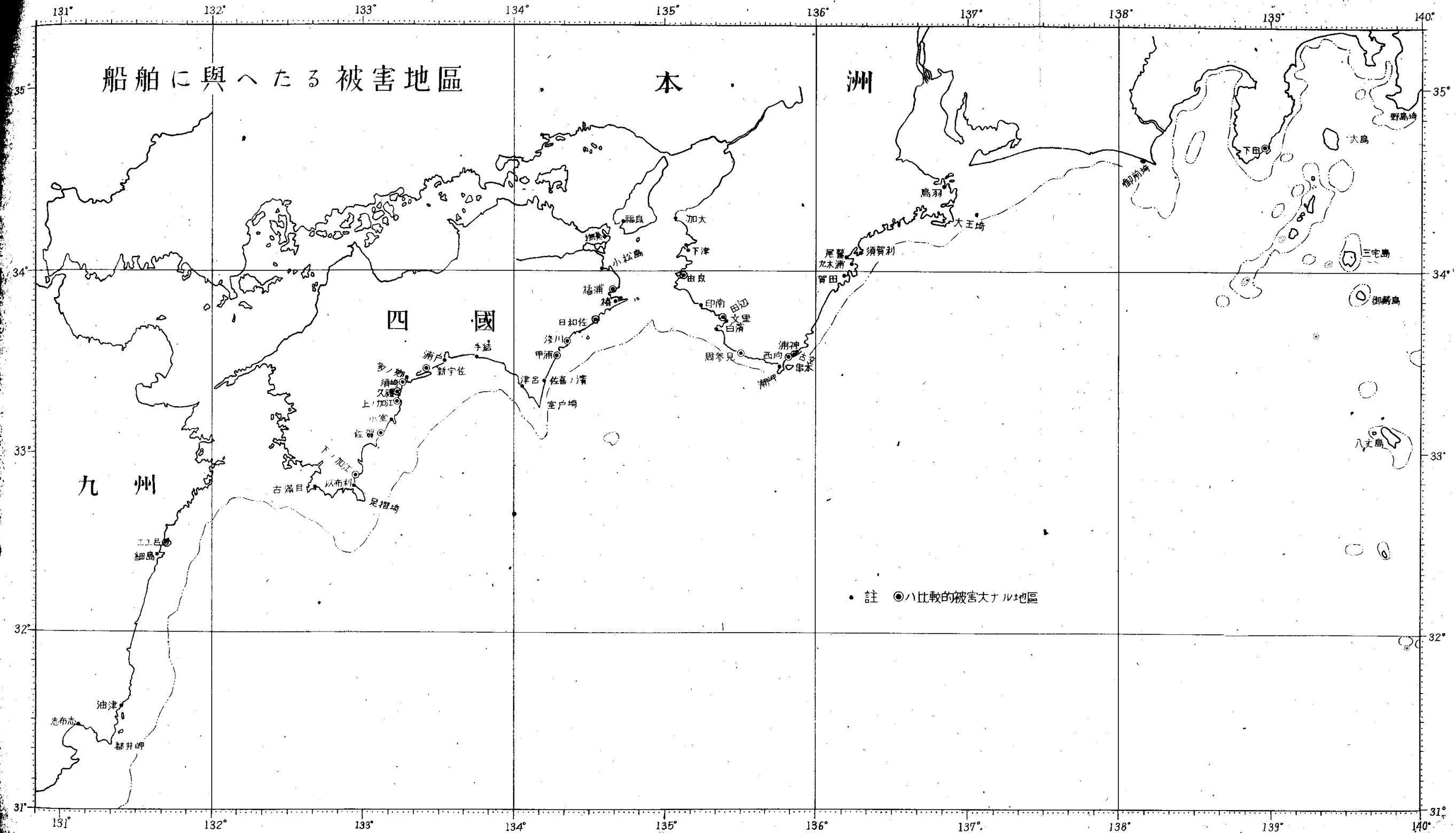
註

1. 斜体書ハ水路部基本水準標石及水上若干出岩ノ測定ニ依ル結果
2. 立体書ハ地理調査所水準点ノ標高測定ニ依ル結果

# 港灣施設に與へた被害地區











附表

津浪一覽表

地名	来襲状況	間隔	回数	最大波	来襲	津波の高さ (当時の潮位上)	平水上の値を求めると加算すべき 常数	速さ
島崎	大潮程度の昇降を見た	10			220			緩
布良		8~14			100	0.7	0.30	緩
洲ノ埼	引潮にて始まる	10~30			110			緩
館山		30			220			緩
船形	但し洲ノ埼では初め幾分潮が増したという	10			220			緩
東京		験潮器にて判断し得る程度				160	0.1	0.27
稲取			2			0.3	0.35	
白浜	高潮の大きい程度		3~4			1.16	0.35	徒歩より稍速し
外浦			3	2	40	1.0	0.35	"
須崎		10	2		100	1.5	0.35	徒歩程度
下田	引潮にて始まる、静かに増水	30	4	4	40	2.38	0.35	"
湊		引潮にて始まるというも正確ならず		4	4	40	2.1	0.35
妻良子浦	引潮にて始まる	20	4		100	1.12	0.35	潮波と同程度
重須	押波	97	4	2	48	1.0	0.50	
沼津	津波現象なし 昇降差1.3メートル							
清水	引潮なく海面が高くなる、昇降差2メートル				170			6~7 kt
焼津	昇降差1.3メートル				70			
相良	津波現象なし							
地頭方		波が少々高くな						
御前埼	潮の昇降が平日より大きい程度	15	8		230			
舞坂				1	70			10 kt
福江			20		1	70	0.1	0.80
前芝	験潮器にて判断し得る程度			1	112	0.1	0.76	
豊橋		50	3	1	120	0.1	0.68	
西浦					70	0.1	0.87	緩
名古屋		110	2		150	0.3	0.82	
富田		験潮器にて判断し得る程度		1		160	0.1	0.90
松坂		40	3	1	100	0.1	0.64	

地名	来襲状況	間隔	回数	最大波	来襲	津波の高さ 〔当時の潮位上〕	平水上の値を求めるとに加算すべき 常数	速さ	
鳥羽	大潮の大きい程度	15~20	3	2	25~30	0.70	0.40	大人の歩く程度 子供の逃られる程度	
和具	高潮性		5	1	30	3.0	0.41		
浜島	引潮にて始まり、高潮性		3		20~30	0.63	0.41		
須賀利	"		7~8	1	20	1.11	0.36		
矢口	初め引かず、高潮性		8	2	20	2.29	0.36		
引本	引き潮にて始まる	7~10	4	2	20				
尾鷲	初め引かず、高潮性	30	8	2	20	1.48	0.36		大人の駆足程度
九木浦	"		4~5	1	20	1.40	0.36		
三木浦	高潮性					2.14	0.36		
三木里	高潮性			3	30	2.59	0.36		
名柄						2.31	0.36		
賀田	押波性		7~8	2又八4	20~30	3.59	0.36	大人の駆足程度	
曾根						2.83	0.36		
古江						2.53	0.36		
梶賀	高潮性		6	4	30	2.17	0.36		
新鹿	初め引かず、高潮性		3~4	1	30	1.91	0.36	大人の駆足程度	
大泊	引潮にて始まり、高潮性		4~5		15	2.0	0.35		
古泊	"	7	2	2	15~16	2.3	0.35	子供の逃られる程度	
新宮	"		4	2	14~15				
勝浦	初め僅か引く、高潮性		4	2	10	1.67	0.38	大人の駆足より幾分速い 大人の駆足程度	
古座	引潮にて始まり高潮性		3	2	10~15	3.63	0.44		
西向	"		5~6	1	8~10	2.15	0.44		
浦榊	初め僅かに引く、高潮性		3~5	1	10	2.73	0.42	大人の駆足程度	
串本	"		5	3	5~10	4.53	0.32	3.5 kt	
袋				3		6.57	0.32		
周参見	引潮にて始まり押波性		3	2	10	5.32	0.33	第1波は駆足よりおそい2,3波は早い 大人の駆足よりおそい	
白浜	初め引かず、高潮性		5	3	5~8	3.61	0.39		
田辺	引潮にて始まり、高潮性	15~20	3	3	10~20	2.70	0.39	5 kt	
文里港	引潮にて始まり押波性		4	1又八3	10~15	3.63	0.39	大人の駆足程度	

地名	来襲状況	間隔	回数	最大波	来襲	津波の高さ (当時の潮位上)	平水上の値を求めるとに 加算すべき 常数	速さ
印南	高潮性		3~4	4	15	5.51	0.25	大人の駆足程度
由良	引潮にて始まり押波性		5	1	20	3.37	0.28	"
下津	初め僅かに引く、高潮性		3	3	25	3.27	0.26	"
海南	引潮にて始まり、第2波は押波性	40	6	2	40	3.21	0.26	6 kt
和歌山		20	4		50	1.1	0.20	5~6 kt
加太	高潮性		3	2	30	1.6	0.12	大人の駆足程度
岸和田					100	1.0	0.30	8~10 kt
堺	引潮にて始まる	60	4	1	131	1.22	0.30	
大阪		40~60	3		120	0.5	0.30	
洲本	高潮性		3	2	50	0.9	0.06	
淡路良	"		2	1又は2	30	0.9	0.01	自動車の全速程度
副良	"		5	1	40~50	1.76	0.34	大人の駆足より速い
撫養	大潮程度		2~3		30	0.6	0.34	
徳島	引潮にて始まり高潮性	145	3	1	40	1.1	0.30	
小松島	引潮にて始まり高潮性 (大潮の低潮より更に 0.3メートル程引く)		3	2	250	1.66	0.33	自動車程度
橘浦	初め引かず、高潮性	30	7	2	20~25	3.63	0.33	大人の駆足以上
椿	引潮にて始まり、湾奥では押波性		3	3	15~30	3.36	0.33	"
日和佐	初め引かず、湾奥では押波性		3	3	15	2.05	0.43	自動車程度
浅川	湾奥では押波性		3	2	13~20	4.88	0.43	大人の早く走る程度
出羽島	初め引いたというも不確実	10	5	1	20	3.17	0.43	"
鞆奥	引潮にて始まり押波性	10	3	1	10	1.61	0.43	大人の走る程度
那佐	初め引かず、高潮性	10	3	1又は2	直後	3.73	0.43	"
穴喰	引潮にて始まり高潮性		3	2	15	3.16	0.43	"
甲浦	"		6	2	15	3.90	0.43	
佐喜浜	高潮性		1	1	10	2.5	0.44	
椎名	"		1	1	3~5	4.4	0.44	
津呂	引潮にて始まり押波性	10~15		1	20~30	1.42	0.44	大人の駆足よりはるかに早い
安田	高潮性		1	1	10~15	1.9	0.44	
手結	初め引かず、高潮性		6	1	15	2.87	0.44	自動車の速さ

地名	来襲状況	間隔	回数	最大波	来襲	津波の高さ 〔当時の潮位上〕	平水上の値を求めると加算すべき 常数	速さ
高知	高潮性	60	4	4	20	0.6	0.30	逃げられる程度
御豊瀬	引潮にて始まり高潮性	60	4	2	10	0.92	0.39	6 kt
浦戸	"	20~25	3	3	30	1.79	0.39	9 kt
新宇佐	引潮(2メートル程)にて始まり押波性		3	3	5~20	3.90	0.42	大人の駆足程度
須崎	引潮にて始まり高潮性	40	3	1	10	2.96	0.42	自動車の速度
多の郷	初め低潮より1メートル以上引いて後押波性	20~30	5	3	15~20	3.03	0.42	大人の駆足程度
野見	湾奥では押波性	60	6	3	15	5.20	0.42	大人の駆足より早い
安和	引潮にて始まり高潮性		3	3	15	4.7	0.42	
久礼	" 〔低潮より1.5メートル引く〕	10~20	6	3	10~20	3.3	0.42	6~7 kt
上の加江	初め引かず、高潮性	5	3	3	7	2.7	0.42	1波大人の駆足程度3波は自動車の速さ
小室	初め低潮より2メートル位引く、高潮性		3	3	6	3.86	0.44	大人の駆足程度
佐賀	初め低潮より1メートル位引く、高潮性	15~20	3	2	30	4.7	0.44	"
上川口		30	5	4	30	4.5	0.44	
下田	初め低潮より2メートル位引く、高潮性		3	1	40	3.5	0.44	大人の駆足より早い
下の加江	初め低潮より2メートル位引く、高潮性	15	6		30	3.23	0.44	大人の駆足程度
布	高潮性		6	3	30	2.1	0.44	
以布利	初め低潮より2メートル位引く、高潮性		5	5	30	2.7	0.44	大人の駆足程度
清水	引潮にて始まり高潮性	20	5	2	20~30	1.86	0.50	大人の歩く程度
古満目	初め低潮より1.5メートル位引く、高潮性	5~6	4	3	30~40	3.96	0.50	大人の駆足程度
片島	初め大潮時の低潮位引く、高潮性	30	4	3	30	1.32	0.52	
宇和島	初め引かず、高潮性	70	4	2	80	1.16	0.32	
吉田	高潮性	20	10	6	60	1.1	0.42	
八幡浜	幾分推量が増した程度				60	0.4	0.46	
三崎	高潮性	15			60	0.55	0.61	
内浦						0.1	0.61	
三机	津波の現象なし							
牛窓	地震後海面が0.3メートル位盛り上がる							
高松		56	5	4	186	0.25	0.63	
別府	引潮にて始まり、うねりの大きい程度				210	0.7	0.40	大人の歩く程度

地名	来襲状況	間隔	回数	最大波	来襲	津波の高さ 〔当時の潮位上〕	平水上の値を求めるに 加算すべき 常数	速さ
大分	引潮にて始まり、高潮性	120	7		238	0.8	0.40	大人の歩く程度 "
大野川	初め引かず		3	2	130	0.42	0.33	
佐伯	引潮にて始まり、高潮性	30~40	3		170	1.4	0.10	
土土呂	高潮性	20		3	60	1.6	0.20	
細島	初め引かず、高潮性	45	3	3	70	0.85	0.32	
油津	引潮にて始まる	40	3	3	60	1.4	0.20	
崎田	"	40	3	3	70	1.35	0.30	
志布志		40	3	3	40	1.5	0.20	

### 被害一覽表

項 地 目 名	港 湾	建 築 物							船 舶					橋りょう		道 路 決 壊	木 材 流 失	漁 網 流 失	備 考		
		全 建 物 数	被 害						全 船 船 数	被 害				破 壊	流 失						
			焼 失	流 失	全 壊	半 壊	小 破	床 浸 上 水		床 浸 下 水	流 失	沈 没	全 壊							中 破	小 破
伊豆 下田	護岸1ヶ所大破	1880				2		140	146		5	15	22	23	33		1	相当あり			
清 水																					係留中の船の系索 切断せるもの若干 かき養殖だな流失 破壊せるもの若干
焼 津																					係留中の船の系索 切断せるもの若干
地頭方																					塩田にわずかの被 害あり
相 良																					塩田にわずかの被 害あり
御前岬										3											
鳥 羽	1.岩崎さんばし破壊 2.中之郷附近沈下のため 高潮時に岸壁浸水すた だし昭和19年の地表に よる									45		1			5						
須賀利	岸壁破壊(約50m)1ヶ所				3		50								2						
矢 口				2			12														

項 地 目 名	港 湾	建 築 物							船 舶					橋りょう		道 路 決 壊	木 材 流 失	漁 網 流 失	備 考
		全 建 物 数	被 害						全 船 舶 数	被 害				破 壊	流 失				
			焼 失	流 失	全 壊	半 壊	小 破	床 浸 上 水		床 浸 下 水	流 失	沈 没	全 壊						
浜 島	堤防破壊 2ヶ所																		
引 本	堤防破壊(約430m) 2ヶ所	950			15	15	70	29	100								1200石		田畑浸水14町7反 真珠いかだ200流 失
尾 鷲	船だまり全破(地震による) 堤防小破(津波による)				1				60	170			7		12				
九木浦				1	1				3		11								流失のうち6隻は 漁船
賀 田		980		18	5	2		126	30	102			3		3				
泊 村		270			6	24													建築物の被害はほ とんど古泊 被害は地震による
新 宮		6800	2398		600	1000											2000		昭和22年 人口31,125
勝 浦	岸壁き裂、崩壊数ヶ所	1300			2	13		73	324									き裂に よる 1	田畑浸水 4 反歩
浦 神	湾奥の護岸破壊数ヶ所	800		1	3	25	74	30	120	106				4	5	1	1		被害の大部分は津 波による



項 地 目 名	港 湾	建 築 物							船 舶					橋りょう		道 路 決 壊	木 材 流 失	漁 網 流 失	備 考	
		全 建 物 数	被 害						全 船 舶 数	被 害				破 壊	流 失					
			焼 失	流 失	全 壊	半 壊	小 破	床 上 浸 水		床 下 浸 水	流 失	沈 没	全 壊							中 破
古 座	岸壁崩壊、埋立地流失 導水堤全壊(全長約50m)	820			3			11	91	96	1		7	58		1 津波				田畑浸水13町5反
西 向					3 地震		2	1												
串本及び 袋附近	漁業会前岸壁き裂により 若干崩壊	2000		99	50	113	1153	264	321	200			5	35	46	1	数ヶ所			
周 参 見	岸壁及び護岸破壊各1ヶ 所	900		30	20	50	500	270	300	109	1	1	11	60	30					被害家屋600軒(床 下浸水及び小破家 屋は重複す)
白 浜	網不知の岸壁破壊	1000		24	6	41	200	306	36	65	15					2	小破壊 数ヶ所			被害は地震による
田 辺	堤防破壊2ヶ所	7800		54	29	104		490	354	282	80		1	39	77	1		1000石		
文 里	1.大阪商船発着所附近埋 立岸壁破壊 2.跡ノ浦岸壁全壊	1100		162	173	446		121	30	46		28	5		5		鉄道 4			田畑浸水80町歩 (跡ノ浦を含む)
印 南		600		6		15		200	400	51			23	8						田畑浸水80町歩
由 良	堤防破壊約4割	1115		13	53	541		594	52	100	10		20	11	18					床上浸水は全壊半 壊を含む
下 津	岸壁破壊9ヶ所(全長約 250m)	1290			11	6	500	570	50	185				7	10					小破家屋は半数床 上浸水を含む

項 地 目 名	港 湾	建 築 物							船 舶					橋りょう		道 路 決 壊	木 材 流 失	漁 網 流 失	備 考	
		全 建 物 数	被 害						全 船 舶 数	被 害				破 壊	流 失					
			焼 失	流 失	全 壊	半 壊	小 破	床 上 水		床 下 水	流 失	沈 没	全 壊							中 破
加 太	防波堤及び岸壁小破（数ヶ所）（地震による）				2	2				175	2		4	20						港湾家屋被害は地震による
淡 路 由 良	波止場小破（3ヶ所）				4	32	113			400								1	被害の大部分は地震による	
洲 本	北防波堤崩壊（約20m）	7849			125	178	392													
福 良	護岸小破数ヶ所、駅南東の堤防流失（10m）	2200				2~3	100	788		415		2			20		1		家屋の被害は地震による	
撫 養	川口東岸附近の岸壁崩壊2ヶ所	3300			60	135				230		5	3	2	10					
徳 島					60	31														
小 松 島	岸壁の局部的沈下により若干破壊	5000		2	8	62	4530			110	1		2	2	2					
椿 泊	岸壁崩壊前部、須屋 - 土ヶ鼻全壊	1200		14		61		166	100	188	4	1	7	10	5					被害の大部分は津波による
橘 浦	堤防延長破壊（4188m） 堤防延長破壊（2792m）	1290		50	53	196		867	66	125	24		31	18	9			5300石	被災戸数1165戸、床上浸水は全壊半壊を含む	
日 和 佐					2	72		59	180		15	3	50			1	1000			

項 地 目 名	港 湾	建 築 物						船 舶					橋りょう		道 路 決 壊	木 材 流 失	漁 網 流 失	備 考		
		全 建 物 数	被 害					全 船 舶 数	被 害				破 壊	流 失						
			焼 失	流 失	全 壊	半 壊	小 破		床 上 浸 水	床 下 浸 水	流 失	沈 没							全 壊	中 破
浅川	護岸及び岸壁崩壊各1ヶ所	900			263	150		65		170	10	3	73	42						
甲浦	護岸その他数ヶ所破壊	900		6	15	2	450	300	100	182		1	5	75	90		3	2		小破家屋450戸のうち50戸は地震による
佐ノ喜浜	護岸数ヶ所破壊(地震による)									25		1			12					定置網 1中破
室戸	防波堤のき裂若干(地震による)									27										
津呂	防波堤崩壊(約20m)防波堤のき裂若干(約60m)									83					3					被害は地震による
安田		1500			6	19	30			214										被害は地震による
手結		150			2	3	26	30	10	31					10					被害は地震による
高知	岩松町物揚全壊(460m)埋立地岸壁破壊沈下海岸防波堤崩壊数ヶ所	27700	2		1689	2822		3286									18			床上、床下浸水はおおむね半数ぐら いずつ
御畳瀬	岸壁破壊2ヶ所	350					30	30		253	15		1	29						被害(家屋)地震による
浦戸										77	2	1			13	1				

項 地 目 名	港 湾	建 築 物								船 舶					橋りょう		道 路 決 壊	木 材 流 失	漁 網 流 失	備 考	
		全 建 物 数	被 害							全 船 舶 数	被 害				破 壊	流 失					
			焼 失	流 失	全 壊	半 壊	小 破	床 浸 上 水	床 浸 下 水		流 失	沈 没	全 壊	中 破							小 破
新 宇 佐	岸壁破壊数ヶ所	1400	142	303	130	323	500	1100	100	234	34		136	12	16		1	13			床上浸水は半壊以上の被害全部を含む
須 崎	北東部岸壁全壊商船さんばし附近岸壁崩壊、その他被害4ヶ所東部埋立地岸壁崩壊数ヶ所	2500			266	88		970	113	414	45		130	225				3	石 28320		
多ノ郷	大間川口南岸壁半壊、大間川口東岸壁全壊、櫻川堤防全壊、富士ヶ鼻北東方河口護岸破壊	600	226	46	25	34		194		174	3	4			5		1	10			多ノ郷村全体として226戸の焼失家屋あり
野 見	野見非東岸壁半壊宮ノ谷全壊2ヶ所	500		71	35	30		228		266	21		2	1	3			3			
久 礼	船だまり岸壁崩壊(若干)	1300		3	2	5		100	300	180	6		2	4	42		4	18			一部久礼を含む
上ノ加江	北防波堤破壊、北船だまり防波堤破壊(約60m)南船だまり防波堤全壊(約56m)南船だまり東埋立地流失(約2万坪)	1000	378	36	70	298		210	168	149	17		24	23	9			70	400石		焼失家屋は床上浸水を含む
小 室					1	1	10	20	10	30	2		3	10	15						
佐 賀	橋下北側岸壁流失(約6m)橋下南側岸壁半壊(約28m)船だまり堤防西側流失(約20m)	800			35	50	20	30	100	263	11		19	34	119			40			

項 地 目 名	港 湾	建 築 物							船 舶					橋りょう		道 路 決 壊	木 材 流 失	漁 網 流 失	備 考
		全 建 物 数	被 害						全 船 舶 数	被 害				破 壊	流 失				
			焼 失	流 失	全 壊	半 壊	小 破	床 上 浸 水		床 下 浸 水	流 失	沈 没	全 壊						
土佐下田	四万十川護岸崩壊一部	300			11	289													被害は地震による
下ノ加江	北船だまり防波堤全壊 南船だまり防波堤破壊	259		2	2	3	230	90	33	144	9		46	25	43				小破家屋は浸水家 屋を含む
布	防波堤全壊4ヶ所	300			3	11	286			39									小破家屋は浸水家 屋を含む
以布利	岸壁き裂(延長200m)割 れ口(10cm)	200				14	166			34	1			1	32				
土佐清水	岸壁き裂	800				8	400		50	380									
古満目	岸壁全壊(約150m)	110			6	65		100		114			1	3	27				床上浸水は全壊、 半壊を含む
浦尻	堤防破壊5ヶ所(計150m ぐらい)										10								
宿毛	月島より小深浦に至る防 水路(堤)全壊 岸壁半壊(約50m) 護岸全壊(約100m)	3500	6		99	185		90	100	129						1	3		町役場報告
宇和島	波止場半壊1ヶ所 護岸破損数ヶ所				7	34		230				6		2	3				
伊予 吉田	き裂によりさんばし付け 根破損																		

項 地 目 名	港 湾	建 築 物						船 舶					橋りょう		道 路 決 壊	木 材 流 失	漁 網 流 失	備 考	
		全 建 物 数	被 害					全 船 舶 数	被 害				破 壊	流 失					
			焼 失	流 失	全 壊	半 壊	小 破		床 上	浸 水	床 下	浸 水							流 失
八幡浜				26	97		120									25			
三 崎 (内浦)					1														
三 机					1														
松 山	護岸破壊若干			155												20			
今 治	さんばし及び岸壁半壊若干															20			煙突破損 4 鳥居倒壊 1
多 度 津	さんばし破損若干			7	10	25													煙突破損 1
坂 出	築港岸壁崩壊(役100m) 若干の地割れあり																		
笠 岡				10	116	437										1			
徳 山																			煙突破損 1
別 府																			湯島に若干の被害 があったが一般に 被害皆無

項 地 目 名	港 湾	建 築 物							船 舶					橋りょう		道 路 決 壊	木 材 流 失	漁 網 流 失	備 考
		全 建 物 数	被 害						全 船 舶 数	被 害				破 壊	流 失				
			焼 失	流 失	全 壊	半 壊	小 破	床 上 水		床 下 水	流 失	沈 没	全 壊						
大 分 布	津久見湾岸壁破損若干			16	43														
鶴 崎 町				20	52														
佐 伯 町					2														
土 土 呂							52	146	230										
細 島							数戸											若干	
油 津								66	1~2		2							約50石	5
崎 田									1										
志 布 志										若干									